

## 【1 分解説】文民統制(シビリアン・コントロール)とは？

総合調査部 マクロ環境調査グループ長 石附 賢実

文民統制（シビリアン・コントロール）とは、軍事力の統制を文民、すなわち民主的なプロセスで選出された国民の代表者が担うことを指します。日本では自由で公正な選挙によって立法府が構成され、間接的に選出された行政府（内閣）は法と民意を尊重して権力を行使します。法が権力に優越する、いわゆる法の支配が機能している状態です。自衛隊の最高指揮監督権は、行政府の長である首相にあります。自衛隊の統制にも国民が間接的に関与することとなります。

選挙のない国、あるいは選挙への立候補や投票、報道の自由等に制約がある国は、民意を権力に反映させることができず、その国の軍隊は「権力者のための軍隊」となります。このような国では、何らかの不満の高まりの際に権力の正統性や政策修正能力に疑問符がつきやすく、クーデターなどの騒乱に陥る可能性が高まります。最近では、民間軍事会社が反乱を起こして首都に迫るような事態が発生した国もあります。

暴力を信奉する国家が存在する限り、どの国も自衛措置として軍事力を持つ必要があります。他方で、軍事力には殺傷能力や人をねじ伏せる力があります。われわれ国民一人ひとりが文民統制の重要性や尊さを認識することが大切です。

### 関連レポート

石附賢実「【1 分解説】『法の支配』とは？」

<https://www.dlri.co.jp/report/ld/244795.html>